

2008年度「東京経大会誌」(No.260～262) 総目次

◆ 第260号 (2008年11月)

論 文

保険契約に関する国際会計基準の動向	柳 瀬 典 由
制度的環境の創造 ——資源依存理論の批判的検討——	山 口 みどり
日韓の信用保証制度の経済分析	安 田 行 宏
	尹 敏 鎬
公開持株会社・日本産業と傘下企業の会計行動	小 野 武 美
株式プレミアムと所要機能資本説	
——株式プレミアムと資本準備金制度(二)——	高 山 朋 子
Globalization and Emerging Roles of Cultural Tourism	棚 橋 啓 世
調査・報告	
武蔵村山市大型店出店後影響調査 ——調査結果の概要——	近 藤 浩 之

◆ 第261号 (2008年12月)

論 文

資本主義と現代国家(2)	野 村 昭 夫
恩師 野村昭夫先生の思い出	永 富 隆 司
原油価格の高騰と投機行動	加 藤 裕 己
サービス産業の活性化に向けて ——医療サービスについての視点——	伊 藤 由 希 子
エコロジー経済学におけるノイラートとハイエク	
——市場・知識・合理性——	桑 田 学
銀行間信用と決済	小 島 寛
国家と市民社会の現代理論(6)	柴 田 高 好
日本と東アジアの大都市交通 ——特に最近の自動車渋滞混雑問題——	柴 田 徳 衛
中国雲南における定点観測の継続(2)	
——2005年度・2006年度調査報告——	松 本 光 太 郎
研究ノート	
地域通貨の新しい試み	
——東京都町田市の地域通貨実験事業を事例に——	福 士 正 博
	小 渡 美 知 栄

資 料

戦後日本における予防・健康運動の生成・発展・現段階（上）

——佐久病院と八千穂村との歴史的協働（コラボレーション）を中心に—— 大 本 圭 野
公害・薬害・職業病被害者補償制度の比較研究

——大気汚染公害—— 尾 崎 寛 直
除 本 理 史

◆ 第 262 号（2009 年 3 月）

渡邊 尚教授退任記念号

渡邊 尚教授近影

渡邊 尚教授退任記念号の発刊に寄せて 橋 谷 弘

渡邊 尚教授年譜並びに主要業績目録

資本の諸類型

——わたくしたちは「西洋」をどのように捉え直すか——（最終講義） 渡 邊 尚
プーチン・メドベージェフ体制の発足と進むソ連時代への逆行 兵 藤 長 雄

論 文

世界システムとしての福祉国家体制の成立 岡 本 英 男

欧州統合運動とハーグ会議 小 島 健

成長の臨界点の可能性 —— GPI 分析を中心として —— 長 島 誠 一

社会的質（social quality）が問いかけるもの

——社会的経済の視座から—— 福 士 正 博

紙幣制へ移行の論理 富 塚 文 太 郎

国家と市民社会の現代理論（7） 柴 田 高 好

研究開発における企業間および企業内異質性

——日本の新薬開発におけるマイクロデータ分析—— 中 村 豪

研究ノート

アメリカの環境・燃費規制と自動車工業（2）

——レーガン政策とビッグスリーの車種戦略—— 小 林 健 一

資 料

戦後日本における予防・健康運動の生成・発展・現段階（下）

——佐久病院と八千穂村との歴史的協働（コラボレーション）を中心に—— 大 本 圭 野

2008 年度「東京経学会誌」（No.260～262）総目次